



お出掛けガイド

春の鳥取温故知新ドライブ

三朝(みささ)・倉吉・青谷(あおや)

鳥取県で、県内を無料で通行できる高速道路の整備が進んでいます。夏までに県の東部と中部をつなぐ「鳥取西道路」が開通予定。名古屋からも県中部に足を運びやすくなります。今回は予習を兼ね、県東部から入り進路を西へ。県中部の歴史が息づく場所の今を知る、題して「温故知新ドライブ」です。



どう）を有する県内屈指の古刹ながら、江戸時代から観光客らに精進料理を提供。その一品に柄餅を添えています。季節の食材を使った料理の数々、いただくときの作法も含め、新しい知見が得られるは

伝統といえば、1300年の歴史を誇る因州和紙の手書き体验が人気の「あおや和紙工房」（青谷町）は、帰路に立ちおくのをお忘れなく。

(写真右上から時計回りに)三朝温泉の名物・河原風呂／くらよしフィギュアミュージアムの外観／同館の恐竜をテーマにした展示／ブックカバーやピアスなど、あおや和紙工房で販売されている商品／同工房で紙すきを体験したスペインの旅行者／夜の三朝温泉街／三徳山三佛寺の精進料理は朝食1500円、昼食3000円～。電話0858-43-2666で要予約

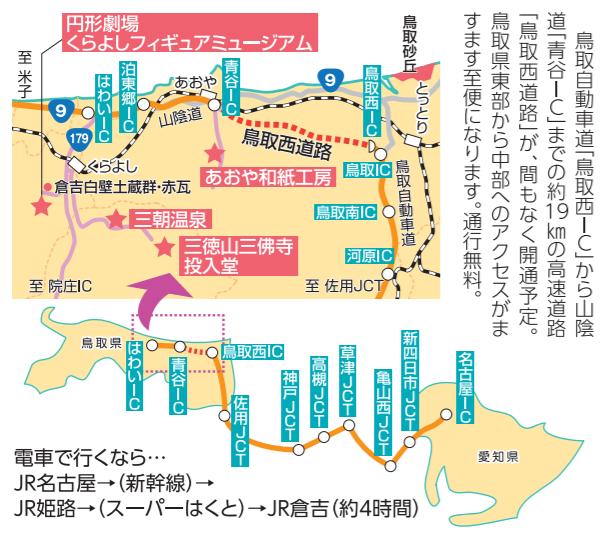
鳥取県の東部へは、中国自動車道の佐用JCTから鳥取自動車道で向かいます。約60kmに渡る区間が通行無料。高速代を気にせず乗り降りできるとなれば

寄り道は思いのままですが、はやる気持ちを抑えて北上します。名古屋を出て4時間20分で、終点の鳥取西ICの出口。ここまでの所要時間は、明日3月17日(日)に新名神高速道路の新四日市JCT～亀山西JCTの開通により短縮されるでしょう。

今回の宿泊地は「三朝温泉」(三朝町)。鳥取西ICを出て、国道や再び無料の高速道路「山陰道」を利用して、西へ1時間も走れば到着します。源義朝の家来が、山中で出合つた白いオオカミの殺生を思いとどまつた夜、お札に教わったというのが三朝温泉の源泉。以来、その湯は村人たちの病を治したそうです。この経験あらたかな伝説が残る温泉の湯は、免疫力向上が期待できる「ラドン」の含有量が世界有数とか。療養目的の人も多く訪れ、最近では地元の病院と旅館が連携し、旅館の宿泊と併せて病院の予約ができるといった取り組みを実施。街ぐるみで「現代湯治」を推進しています。

湯宿に到着して一休みしたら、お隣の倉吉市にある「円形劇場くらよしフィギュアミュージアム

今年の夏までに開通予定 無料の高速道路「鳥取西道路」



問い合わせ ふるさと鳥取県産業・観光センター
中区栄4・16・36 久屋中日ビル5階 電話/052-262-5411
<http://www.pref.tottori.lg.jp/nagoya/>

鳥取県の観光情報ゲット!

三朝町の特産品に「柄餅(とちもち)」という、柄の木の実を混ぜ込んだお餅があります。特徴は茶色っぽい見た目と、ほんのり香る苦み。この伝統食品を、トジエニツクなので、携帯・スマートフォンはカメラモードにしておくのをお忘れなく。

目的地は大まかにポイントだけ決めて、道ながらで見つけた場所を気ままに訪れるドライブも良いですが、今回のようなテーマを決めたドライブが楽しめます。鳥取県中部の魅力です。

3月16日(土)、17日(日)に久屋大通公園(中区栄)で開催される「旅まつり名古屋2019」に鳥取県がブースを出展。今回紹介した三朝町などはもちろん、同県のさまざまなおも観光情報を紹介しています。

両日とも午前10時～午後5時。